

# 主任者 コーナー

## 平成 25 年度放射線安全取扱部会年次大会 (第 54 回放射線管理研修会)のお知らせ (4)

### 平成 25 年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

平成 25 年度放射線安全取扱部会年次大会は、九州支部が担当し準備を進めています。九州支部ではこれまで福岡市と長崎市で年次大会を行いましたが、今回初めて鹿児島市で開催します。今回のテーマは「どら、きばんなら！共に」にしました。みんなで協力していく気持ちをテーマに託しています。テーマの決定に当たっては、実行委員からテーマの案を提出してもらい、実行委員の無記名投票で選びました。もちろん選ばれたテーマは最も投票数が多かったものです。ちなみに次点は「語り合いもんぞ、かごつまで」でした。皆さん、意味はわかりますか。

実行委員会は特別講演、シンポジウムの企画に力を入れています。特別講演Ⅱでは鹿児島県にゆかりの深い演者にお願いしました。3つのシンポジウムは、皆さんに魅力的で、興味深く、役立ち、しかも最新の情報をお届けする意気込みです。ご期待ください。ポスター発表にも力を入れています。ポスター発表の紹介時間を設けました。詳細については後述のポスター発表募集の欄をご覧ください。

#### 年次大会概要 (参加費：5,000 円)

○開催日：平成 25 年 11 月 14 日(木)、15 日(金)

○会場：鹿児島市民文化ホール

鹿児島市与次郎 2-3-1

(JR 鹿児島中央駅よりバス 20 分)

○テーマ：どら、きばんなら！共に

#### プログラム概要 (予定)

【11 月 14 日(木)】(1 日目)

- 9:00～ 参加受付
- 10:00～10:40 開会・部会総会
- 10:40～11:40 特別講演Ⅰ「放射線安全行政の動向について」(仮題)  
(原子力規制庁放射線対策・保障措置課放射線規制室)
- 11:40～12:00 ポスター発表の紹介
- 12:00～13:00 休憩  
相談コーナー
- 13:00～14:30 ポスター発表
- 14:40～16:20 シンポジウム 1 (一般開放)  
「母親、子供たちに伝えたい放射線教育」
- 16:30～17:30 特別講演Ⅱ (一般開放)  
原口 泉氏 (志学館大学人間関係学部教授、鹿児島県立図書館長)
- 18:00～20:00 交流会

【11 月 15 日(金)】(2 日目)

- 9:00～ 参加受付
- 9:30～12:30 シンポジウム 2  
「福島の放射線環境～その現状と課題」
- 12:30～13:30 休憩
- 13:30～15:00 シンポジウム 3  
「次世代 RI 施設へのロードマップ」

## 主任者 コーナー

15:00～15:30 大会まとめ、次回大会紹介、閉会

特別講演Ⅰでは放射線規制室に「放射線安全行政の動向について」（仮題）の講演をお願いします。RI 関連施設の管轄がこれまでの文部科学省から原子力規制委員会に移りました。原子力規制委員会の立場からの放射線安全管理行政についてお話を伺います。

特別講演Ⅱでは、鹿児島県立図書館長・志學館大学教授の原口泉氏に講演をお願いします。原口氏は日本近代史が専門で、鹿児島県では知らない人がいないほど著名な方です。鹿児島県は明治維新に活躍した人材を多数輩出した場所です。この地に関連するお話を伺えるものと思います。特別講演Ⅱは一般へ開放します。

本大会では3つのシンポジウムを企画しています。

シンポジウム1は「母親、子供たちに伝えたい放射線教育」と題し一般に開放します。子供の放射線感受性は大人より高い（高線量被ばくの場合）ことから、母親や子供に対する放射線被ばくには高い関心が持たれています。放射線の影響をどのように伝え、正しく理解してもらうかは放射線の安全管理に関わる私たちには常に気になることです。福島第一原子力発電所事故による放射能の問題は放射線管理に携わる人にも大きな関心事です。

シンポジウム2では「福島の放射線環境～その現状と課題」として、福島の被ばくの現状と高線量地域やチェルノブイリ原発事故における被ばくとの比較、福島の環境放射能の減衰の様子、除染の効果と環境修復の現状、海産物・農産物の汚染の現状などについて、最新の情報を報告します。福島第一原子力発電所の事故から既に2年以上経過し、空間線量率の減少速度は場所によっては放射性セシウムの物理的

半減期より早く減衰していることが分かってきています。

シンポジウム3「次世代RI施設へのロードマップ」では、施設管理者に役立つ企画として、合理的な管理のノウハウ、施設の改修等について取り上げます。放射性同位元素の使用量は多くのRI施設で減少傾向にあるとされています。それに呼応して利用者も減少しているのが現状です。少しでもRI施設の利用率を高めるには、ハード面及びソフト面からの努力がRI管理に携わる人に求められているのではないのでしょうか。本シンポジウムでは、そのような管理者に役立つ内容を取り上げます。RI施設の将来計画の参考になるシンポジウムにしたいと考えています。

### ポスター発表募集

日頃、放射線管理等の実務を担当されている方の情報交換の場として、今回もポスター発表を募集します。放射線施設での施設維持管理の新しいアイデア、放射線利用、事業所紹介、福島支援活動や支部活動など多くの方の参加を期待しています。

なお、お申込みは期限までに、日本アイソトープ協会のホームページ (<http://www.jrias.or.jp>) 「平成25年度放射線安全取扱部会年次大会（第54回放射線管理研修会）のお知らせ」の「ポスター発表募集」からお願いします。お申込みいただいた内容（表題、発表（責任）者）は「ポスター発表一覧」として10月号に掲載する予定です。

○発表申込期限：8月16日（金）

○要旨提出期限：9月6日（金）

A4判縦で図表を含めて2枚以内で作成してください。書式は1行36文字、1ページ35行、文字の大きさは12ポイント、余白は上下左右とも30mmとします。要旨原稿は図表も含め

てワープロ原稿として、事務局にE-mailで送信ください。

今回、ポスターの概要を紹介する時間を1日目の午前中の最後に設けました。すべてのポスターを紹介しますが、時間が限られていることから、ポスターの講演者ではなく、実行委員会を紹介を行うことにします。どのようなポスター発表があるのか、あらかじめ情報を得て午後ポスター発表を見ることが出来ます。また、例年通り、偶数と奇数番号で説明の時間帯を分けるので、ポスターの講演者もゆっくりとほかの人のポスターを見ることが出来ます。

#### 交流会（参加費：5,000円）

11月14日(木)に鹿児島サンロイヤルホテルで交流会を開催します。交流会会場は年次大会会場のすぐ近くです。鹿児島といえば焼酎が有名ですので、もちろん焼酎も用意します。美味しい料理でしばし鹿児島の夜をお楽しみください。

#### 【連絡先】

○放射線安全取扱部会事務局

日本アイソトープ協会学術・出版課

☎113-8941 東京都文京区本駒込2-28-45

☎03-5395-8081 FAX03-5395-8053

E-mail [gakujutsu@jrias.or.jp](mailto:gakujutsu@jrias.or.jp)

南国の鹿児島には郷土色豊かな料理がたくさんあります。既に黒豚料理は全国区になっており、多くの専門店があります。鹿児島湾（錦江湾）や近隣の海からは新鮮な魚介類が届きます。鹿児島を代表する魚にきびなごがあります。ニシン科の小魚で、1年中取れますが、旬は夏です。地元では手開きで刺身にして酢みそで食べます。鹿児島はラーメンも有名です。JR鹿児島中央駅や市内随一の繁華街である天文館にはラーメン専門店があります。どんな味のスープかは是非ご自身で確かめてください。忘れてはいけないものに「薩摩揚げ」があります。鹿児島の地名が付いた名物料理です。魚のすり身を油で揚げたものですが、様々な具があるのでバリエーションは豊富です。地元では「つけ揚げ」と呼んで親しまれています。

実行委員一同、皆様のご参加をお待ちしています。大会の詳細をはじめ有用な情報は下記のホームページからチェックしてください。

<http://www.ric.kyushu-u.ac.jp/jrias2013/index.htm>

---

主任者コーナーの編集は、放射線安全取扱部会広報専門委員会が担当しています。

#### 【広報専門委員】

上養義朋（委員長）、池本祐志、小野孝二、川辺 睦、鈴木朗史、桧垣正吾、宮本昌明、吉田浩子